

| | |
|-----------------------|---|
| 科目名称 | 子どもの健康と安全 |
| 授業コード | AI356 |
| 英語名称 | Studies of Child Health and Safety |
| 学期 | 2024年度後期 |
| 単位 | 1.0 |
| 担当教員 | 三宅 美千代 |
| 記入不要 ナンバリ ングコード | |
| 授業の概要 | 各発達段階における子どもの特徴を理解し、子どもの健やかな育ちを支え、子どもの健康と安全を守るため、保健的観点を踏まえ状況に応じた対応や予防法等、保育者としての安全管理能力を身につけることを目標とします。また、個々の子どもの健康問題や課題を判断し、多職種間で連携・協働しながら、適切な援助を見出す力を身に着けます。 |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | 看護師・保育士の資格を持つ教員が、小児病棟等における看護師としての実務経験と知識・技術を生かして指導する。 |
| 到達目標 | <p>本科目は、こども学科が定めるディプロマ・ポリシー「2. 教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。【知識・技能】」の習得のため、以下について系統立てて理解し、自らの保育として実践する力を養う。</p> <p>保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 保育所保育指針や関連するガイドライン（「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」等）を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。 子どもの体調不良等における適切な対応について、具体的に理解する。 保育における感染症対策について、具体的に理解する。 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。</p> |
| 計画・内容 | <p>第1回 ・ 保育所保育指針における子どもの健康と安全の位置づけの確認 ・ 関連するガイドラインの内容の確認 ・ 保育士養成課程における子どもの健康と安全の学習目標の確認</p> <p>第2回 ・ 子どもの健康と保育の環境 ・ 人的環境としての保育者の役割</p> <p>第3回 ・ 保育施設・設備の衛生管理 ・ 職員の衛生管理 ・ 感染症発症時と食中毒の対応 ・ 嘔吐発生時の処理方法</p> <p>第4回 ・ 子どもの事故の特徴と現状 ・ 子どもの事故の予防と対応 ・ リスクとハザード</p> <p>第5回 ・ 災害の分類と特性 ・ 災害への備え</p> <p>第6回 ・ 子ども目線で散策し、子どもの興味と危険を体験</p> <p>第7回 ・ 子ども目線で散策したことについて、グループごとに発表</p> |

| | |
|------------------------------------|--|
| 計画・内容 | <p>第8回 ・子どもの身体計測の方法とその評価</p> <p>第9回 ・病気に対する子どもの理解と反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調不良の判断方法 <p>第10回 ・子どもに多いけがと症状の判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外傷時の手当の方法 <p>第11回 ・緊急を要する状況への対処方法 (溺水、誤嚥・誤飲、窒息、熱中症)</p> <p>第12回 ・救命手当と救急蘇生法</p> <p>第13回 ・アナフィラキシーショックの対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピペンの使用方法 <p>第14回 ・3歳未満児の特徴と留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児への保育の方法 ・乳幼児突然児症候群の発生原因と予防方法 <p>第15回 ・職員間の連携・協働と組織的取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携 |
| 授業の進め方 | <p>講義と演習を交えながら進めていきます。また、実際の場面を想定した演習やロールプレイングを行ない、知識や保育技術・保育実技の定着を図ります。パワーポイントや動画、画像等を用い、視覚的にも分かりやすく授業を充実させます。</p> |
| 能動的な学びの実施 | <p>ニュースなどで、子どもに関する事故やけがなどを積極的に入手し、自分なりの意見をまとめ考察を行い、授業内で共有・意見交換を行うなどし、理解を深めていくことを希望します。</p> |
| 授業時間外の学修 | <p>授業前に教科書の該当箇所を読み、専門的で分からない言葉等は事前に調べておいてください。また、関連するガイドラインや近年のデータを読み、学習内容の課題を明確にして望んでください。授業後には毎回授業の学び自分なりに整理し、知識を定着させてください。(合計60時間程度)</p> |
| 教科書・参考書 | <p>【教科書】 山下雅佳実他、イラスト 子どもの保健・健康と安全、東京教学社、2023。</p> <p>【参考書】 適宜紹介します。</p> |
| 成績評価方法と基準 | <p>定期試験(50%)</p> <p>授業内における小テスト(10%)</p> <p>毎授業のリフレクションペーパー(10%)</p> <p>課題レポート(20%)</p> <p>授業参加度(10%)により総合的に成績を評価します。</p> |
| 課題等に対するフィードバック | <p>毎授業におけるリフレクションペーパー内の質問に対し、次の授業で解説を行います。</p> <p>また、課題レポートや小テストなどの提出物については、コメント等を記入し返却するとともに、回答の解説を次の授業時間に行います。</p> |
| オフィスアワー | <p>CampusSquareを参照</p> |
| 留意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格取得のための必修科目です。また、子どもの保健履修を条件とし、その講義内容も含めて理解をしていることを前提とします。 ・配布資料が多いため、A4サイズのファイルを用意しファイリングをし、また専用のノートを作成するなど、自分なりに各回の授業内容を整理してください。 ・実技演習時、長い髪はまとめ、爪を切り、清潔で動きやすい服装等で臨んでください。 |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」 | <p>授業の進め方：Zoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し、議論します。授業内容の確認小テストを行い、Webフォームに直接入力し、その後解説を行います。</p> <p>zoom授業への参加度(10%)、確認小テスト(20%)、レポート提出(20%)、最終確認試験(50%)により総合的に成績を評価します。</p> |